

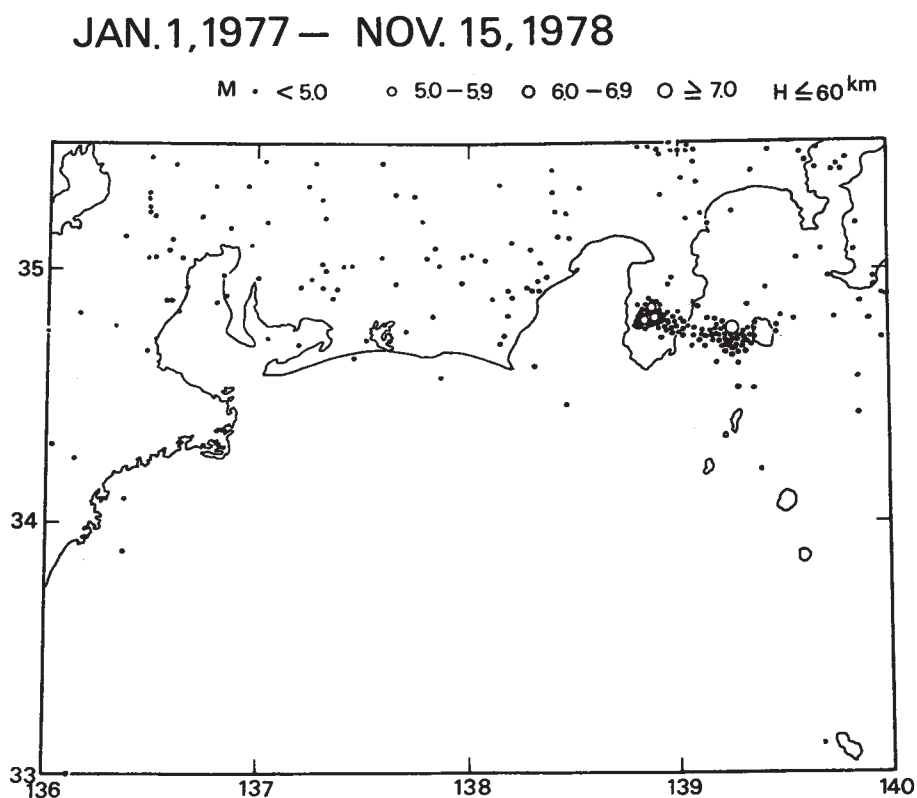
4 - 2 東海地方の地震活動について

Seismic Activity at the Tokai District

気象庁地震課 地震予知情報室

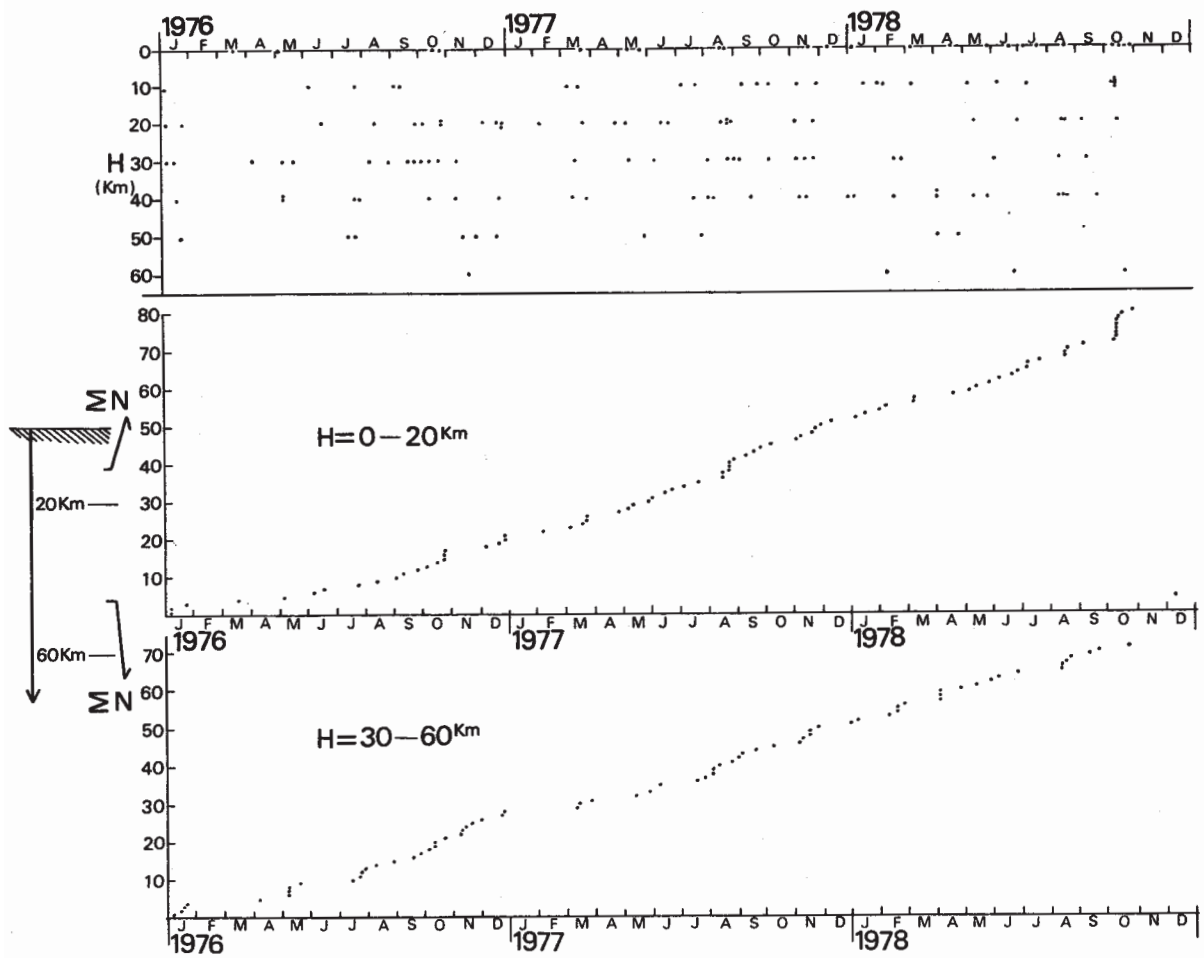
OIEP, Seismological Division, Japan Meteorological Agency

第1図は1977年1月以後1978年11月15日までに気象庁が震源決定した東海地方を中心とした震央分布図である。また、第2図は駿河トラフ以西の1976年以後1978年11月15日までの深さ別の地震活動の変化である。これらの図から、伊豆大島近海から伊豆半島中部にかけては、1978年1月14日の伊豆大島近海地震（M7.0）の前震および余震のために多数の地震が発生した。しかし、駿河トラフ以西の東海地方の地震活動には伊豆大島近海地震の影響はなく、地震活動は定常的であり、異常な変化は見当たらない。



第1図 東海地域の震央分布図（ $h \leq 60\text{km}$ ）

Fig. 1 Distribution of epicenters observed at the Tokai district from January 1, 1977 to November 15, 1978 ($h \leq 60\text{ km}$).



第2図 駿河トラフ西側の地震活動

Fig. 2 Seismic activities of the western part of Suruga Trough.